

# 第5次草津市総合計画第2期基本計画

## 【 期中評価 】

(平成25年度・平成26年度実績評価)

平成28年3月

草 津 市

## 第5次草津市総合計画第2期基本計画 期中評価（平成25年度、平成26年度評価）について

### 【目的】

平成24年3月に策定した第5次草津市総合計画第2期基本計画の計画期間が、平成28年度をもって終了することから、基本構想において掲げる平成32年度の将来像の実現に向けた本市のまちづくりを引き続き計画的に推進していくことを目的に、平成29年度から平成32年度を計画期間とする第5次草津市総合計画第3期基本計画を平成28年度中に策定します。

ついては、平成27年度に、第2期基本計画期間のうち平成25年度、平成26年度のまちづくりの進展における成果を捉えるとともに、評価を行うことで、第3期基本計画の策定につなげるものとします。

なお、第2期基本計画期間全体の評価としては、計画期間終了の翌年度である平成29年度に期末評価を行い、今後の総合計画推進のための資料とします。

### 【期中評価方法について】

第2期基本計画における進捗管理として、55項目の基本方針ごとに定めためざすべきまちの目標像の実現に向けたまちづくりの進捗の目安となる達成指標（ベンチマーク）を設け、毎年の目標達成度を測るとともに、116項目の施策ごとの目標達成状況の評価を行ってきました。

第2期基本計画の期中評価としては、これらの進捗管理結果等を踏まえながら、平成25年度、平成26年度の基本方針ごとの取組み状況や目標達成状況、計画期間中における環境変化や今後の課題等を取りまとめました。

### 【第2期基本計画の基本方針ごとの目標達成度について】

目標達成度	H26年度基本方針数（割合）	H25年度基本方針数（割合）
100%～	13（23.6%）	12（21.8%）
76%～99%	33（60.0%）	33（60.0%）
51%～75%	8（14.6%）	6（10.9%）
26%～50%	1（1.8%）	3（5.5%）
1%～25%	0（0.0%）	1（1.8%）
0%	0（0.0%）	0（0.0%）
計	55（100%）	55（100%）

## ○平成26年度目標達成度の概要

平成26年度では、第2期基本計画の最終年度である平成28年度の目標値に対して、目標達成度が76%を上回る基本方針数が46あり、全体の約84%を占めています。

また、目標達成度が26%から75%の基本方針数は9であり、目標達成度が25%以下の基本方針はありませんでした。

## ○平成25年度目標達成度と平成26年度目標達成度の比較

目標達成度が増加した基本方針数	38
目標達成度が減少した基本方針数	15
目標達成度が変化していない基本方針数	2

## ○目標達成度が100%以上であった基本方針の目標達成度の要因分析

### 6) 青少年の健全育成（指標：青少年からの相談件数）

・平成25年度からは減少したものの、青少年健全育成のための啓発や相談しやすい体制づくりに努めた結果、平成26年度は子育て・学校関係・非行・発達課題等、中学生の保護者を中心とした相談が多かったことによる。

### 9) 市民文化の醸成（指標：市民音楽祭等文化行事・催事の参加者（発表者・出品者・鑑賞者）数）

・平成26年度においては市制60周年を迎え、各事業において官民の隔たりなく草津市が一丸となって魅力発信に努めたことで、市民文化の醸成に繋がった。また、平成26年度のくさつ市民アート・フェスタにおいては、新たな会場として草津アマカホールも利用した事業展開を図り、各会場において市民が身近に文化や芸術に触れる機会を提供することで、多くの年齢層の参加が見られたことによる。

### 10) 歴史資産の保全と活用（指標：史跡草津宿本陣等の入館者の数）

・史跡草津宿本陣の楽座館の竣工オープンによる事業参加者の増加と街道歩き等の団体での入館が増加したことによる。

### 16) あんしんできる高齢期の生活への支援（指標：高齢者相談件数）

・平成25年度から市内6か所に圏域地域包括支援センターを開設したことにより、地域の身近な高齢者の相談窓口の体制強化が図れたことから、目標より多くの高齢者の相談を受けることができている。平成26年度については委託が2年目を迎え、圏域地域包括支援センターの周知活動等により認知度が徐々に上がり、相談件数も伸びていると考えられる。

### 17) 共に生きる社会の推進（指標：障害者福祉センターのふれあい・交流事業の参加者数）

・利用者のニーズをふまえた新たな講座の開設や講座生の追加募集を行ったことにより、教養・文化講座の利用者が増加したと考えられる。

### 22) 暮らしの安心の確保（指標：消費生活相談件数）

・通信、情報機器の市場の拡大に伴い、事業者と消費者の間で契約・解約、販

売方法によるトラブルが多発したこと、また販売購入形態では通信販売や店舗購入による信用性、詐欺等の相談が多く寄せられた。さらに60歳以上の高齢者においてこの傾向は顕著であり、高齢者被害の高止まりを示すもので、被害の多い一人暮らしの高齢者に対する適切な対策が求められている。

- 25) 犯罪のないまちづくり（指標：人口1万人当たりの犯罪認知件数）
- ・本市の犯罪認知件数の約3割強を占める自転車盗対策に力を入れて取り組み、自転車盗では対25年比で△165件、総犯罪認知件数対25年比△454件と大きく削減させることができ、目標達成に至った。
  - ・自転車盗を削減できた要因としては、平成25年度から取り組んだ自転車盗多発場所ワーストランキングの公表や継続した街頭啓発活動により、駐輪場管理者や市民一人ひとりの防犯意識の向上および施錠意識の向上を図ることができたことであり、防犯意識の向上が市全体の犯罪件数の削減に繋がったものと考えている。
- 26) 治水対策の推進（指標：雨水排水路整備率（進捗面積／計画面積））
- ・南草津駅周辺の人口増加に伴う新規小学校建設予定地と雨水幹線整備計画が重複し、雨水幹線の整備時期を小学校建設と合わせる必要が生じたため、目標達成度が100%となった。
- 34) 住まいと住生活の魅力向上（指標：良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合）
- ・人口増加が堅調に続く中、都市計画法等に基づく良好な環境の確保と調和のとれた土地利用の誘導等と併せて、目標値の設定を行った平成24年度以降、東洋経済新報社の「住みよさランキング」において、平成25年から3年連続で近畿1位を獲得し、同時期よりスタートしたシティセールスの効果もあって、市民の間に「住みよいまち」としての認識が浸透したと考えられる。
- 39) 公共交通体系の充実（指標：公共交通機関の利便性に満足している市民の割合）
- ・公共交通機関を安心して利用してもらえるよう、路線やダイヤの定着化を図るとともに、公共交通機関の利用促進に努めたため。
- 40) バリアのないまちづくり（指標：まちに障壁（バリア）が少ないと思う市民の割合）
- ・各管理者が草津市バリアフリー基本構想に基づき、随時バリアフリー化に向けた取組を行ったため。
- 46) 観光の振興（指標：観光の振興に満足している市民の割合）
- ・草津市の1大イベントである「草津宿場まつり」や「イナズマロックフェス」などの他、草津市観光物産協会で開催している「熱気球フライト体験」や「ハスクルージング」など、観光客誘致に繋がる事業を継続的に実施し観光事業として定着しつつあることや、平成26年7月に市民の憩いの空間「niwa+」が草津駅前に新しくオープンしたことなどが、市民の観光振興を意識する要因となったと考えられる。
- 47) 勤労者福祉の増進（指標：働きやすい労働環境であると感じる市民の割合）

- ・ワークライフバランスや企業内人権の啓発を行い、企業内の福祉の増進を図ることが出来たとともに、本市が補助を行っている草津・栗東地区労働者福祉協議会および（一社）草津市勤労者福祉サービスセンターが行っている各福祉事業・文化事業・体育事業により多くの労働者の方が参加されるよう工夫を凝らした結果も一因として考えられるが、平成25年度から平成26年度において、有効求人倍率の年間平均が0.76倍から1.07倍に増加したことが、働きやすい労働環境であると感じた市民が増えた大きな要因として考えられる。

#### ○目標達成度が50%以下であった基本方針の目標達成度の要因分析

##### 27) 草津川跡地の空間整備（指標：整備進捗率(整備面積/計画面積)）

- ・平成26年度から事業用地の整備工事に着手したが、国の補助金の減額等から目標値を下回る結果となった。今後、平成29年春の供用開始に向けて引き続き整備工事を進め、事業の進捗を図る。

**【参考：目標達成度の算出方法について】**

**○指標の設定について**

意識調査を利用したもの 約44% (24/55)

**○目標達成度の算出方法**

$\frac{\text{平成26年度実績値}}{\text{平成28年度目標値}}$ を基本としています。

**※上記以外の算定方法を使用している目標達成度**

25) 犯罪のないまちづくり（指標：人口1万人当たりの犯罪認知件数）

→平成28年度目標値の152件へと減少させていく設定のため、平成28年度目標値 ÷ 平成26年度実績値で達成度を算定。

35) 水の安定供給（指標：水の安定供給に対して不満を感じている市民の割合）

→平成28年度目標値の2.8%へと減少させていく設定のため、平成28年度目標値 ÷ 平成26年度実績値で達成度を算定。

36) 下水道の安定基盤づくり（指標：汚水の適正処理に対して不満を感じている市民の割合）

→平成28年度目標値の4.8%へと減少させていく設定のため、平成28年度目標値 ÷ 平成26年度実績値で達成度を算定。

53) 健全な市政運営（指標：将来負担比率）

→平成28年度目標値は60%以内としており、実績値が60%以内なら達成度を100%としている。

**※暫定値を使用**

20) 医療保険制度等の適正運用（指標：特定健康診査実施率）

→実績値は翌年度の11月に確定するため、平成26年度の実績値を更新している。

# 「第5次草津市総合計画 第2期基本計画の期中評価について」 表の見方

「行財政マネジメント」を含めた5つのまちづくりの基本方向を記載しています。

## 「人」が輝くまちへ

◆人権 ← 22の分野を記載しています。

55の基本方針ごとに評価をまとめています。

第2期基本計画に記載されている「現況」と「課題」を転記しています。

第2期基本計画期間のうち、平成25年度、平成26年度における取組み概要や環境変化等について、基本方針ごとにまとめています。

**目標像**:第2期基本計画において、55の基本方針ごとに定めたいめざすべきまちの「目標像」です。  
**ベンチマーク**:目標像の実現に向けたまちづくりの進捗の目安となる達成指標です。  
**目標値と実績値**:第2期基本計画策定時に定めた目標値と、第2期基本計画期間中の実績値です。(上段は目標値、下段は、H25年度、H26年度の実績値を記載しています。)  
**目標達成度**:第2期基本計画の期末である平成28年度の目標値に対する平成26年度の達成度を割合で示しています。

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
1	人権の尊重	○人権や平和を脅かす状況は依然としてあり、同和問題をはじめとする人権問題はさらに多様化・複雑化してきています。 ●人権尊重と恒久平和を願う“人権文化”を根付かせ、一人ひとりの人権が尊重されるまちとしていく必要があります。	◇人権教育や各種啓発事業の実施により、人権が尊重されるまちであると思う市民の割合が上昇しています。 ◆全ての隣保館が指定管理者制度へ移行するにあたり、地域のニーズを反映した運営のため、市と地域が一体となって福祉の向上や人権啓発の拠点施設となるよう取り組む必要があります。人権教育・啓発については、創意工夫や人権教育基本方針の遵守が求められます。	人権と人の多様性を尊重する人が増える！	人権が尊重されるまちであると思う市民の割合	%	目標値	23.0	25.0	27.0	29.0	94.5%
							実績値	26.8	27.4	-	-	

第5次草津市総合計画 第2期基本計画の期中評価について  
 〈分野別の概要〉

「人」が輝くまちへ

◆人権

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
1	人権の尊重	○人権や平和を脅かす状況は依然としてあり、同和問題をはじめとする人権問題はさらに多様化・複雑化してきています。 ●人権尊重と恒久平和を願う“人権文化”を根付かせ、一人ひとりの人権が尊重されるまちとしていく必要があります。	◇人権教育や各種啓発事業の実施により、人権が尊重されるまちであると思う市民の割合が上昇しています。 ◆全ての隣保館が指定管理者制度へ移行するにあたり、地域のニーズを反映した運営のため、市と地域が一体となって福祉の向上や人権啓発の拠点施設となるよう取り組む必要があります。人権教育・啓発については、創意工夫や人権教育基本方針の遵守が求められます。	人権と人の多様性を尊重する人が増える！	人権が尊重されるまちであると思う市民の割合	%	目標値	23.0	25.0	27.0	29.0	94.5%
							実績値	26.8	27.4	-	-	

◆男女共同参画

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
2	男女共同参画社会の構築	○固定的な性別役割分担意識にとらわれず、それぞれの個性と能力が十分に発揮できる社会づくりにおいて、その遅れを国際社会から指摘されています。 ●男女がともに社会の対等な構成員として、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画の社会づくりをさらに進めていく必要があります。	◇セミナーや講座の開催、啓発紙の発行、啓発イベントの実施等により、男女共同参画についての知識普及と意識啓発を図るとともに、若年層への啓発強化に努めました。 ◆第3次草津市男女共同参画推進計画（後期計画）に基づき効果的に施策を展開し、男女共同参画の社会づくりをさらに進める必要があります。女性の活躍推進についても、職場における男女間の格差是正などにより、重点的に取り組む必要があります。	男女がともに喜びと責任を分かち合える！	男女共同参画が進んでいると思う市民の割合	%	目標値	16.0	18.0	20.0	22.0	87.7%
							実績値	17.1	19.3	-	-	



◆教育・青少年

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位	H25 H26 H27 H28				目標達成度	
							目標値	実績値	目標値	実績値		
3	学校教育の充実	○教育振興基本計画に基づき、児童生徒を着実に育てる教育行政を展開しています。 ●充実した教育環境のもとで、児童生徒一人ひとりの学力向上を図るとともに、豊かな心と健やかな体を育成していくことが求められています。	◇少人数学級実現のための教員加配や教科指導におけるICTの活用、図書館教育の充実等により、学習意欲の向上や学習習慣の定着の成果が得られました。各種研修や講座の開催、スキルアップアドバイザーによる支援等を通じて教員全体の資質・指導力の向上を図り、質の高い授業づくりに取り組みました。 ◆教員の活用指導力や各校の取組意識の差により、学校間でICTの活用状況に差が認められており、指導・助言による教員の指導力・授業力の底上げを図る必要があります。また、学校図書館の学習・情報センター機能の充実や学びの教室等の体制整備が必要です。	学校での教育が子どもを生き生きさせている！	「授業がわかる」と感じている児童生徒の割合	%	目標値	88.0	88.0	89.0	90.0	97.1%
							実績値	89.6	87.4	—	—	
4	学校施設の整備	○学校施設の耐震補強は完了しましたが、施設の大半が昭和40・50年代に建築されたものであり、経年劣化が著しい校舎等が多数あります。 ●財政負担の年度平準化を図りながら、施設の大規模改修等を進める必要があります。また、東日本大震災の教訓を踏まえ、天井材や家具等の非構造部材についての耐震対策が必要です。	◇計画年度に学校施設の改修等を行い、教育環境を改善することができました。 老上小学校の分離新設の造成工事により小学校建設基盤を整えるとともに、基本設計及び実施設計を完了し、実施設計に基づき建築工事に着手することができました。 ◆小中学校の校舎や屋外施設、受電設備等の付帯設備は経過年数に伴う老朽化が著しく、今後改修の必要があります。児童・生徒数の増加に伴う校舎の新築や増築の検討や、非構造部材の耐震化を進めていく必要があります。	子どもの学習環境が充実している！	小中学校の大規模改修計画(H24～H28)の進捗率(進捗面積/計画面積)	%	目標値	29.0	61.0	85.0	100	52.0%
							実績値	29.0	52.0	—	—	
5	児童・生徒の支援体制の充実	○いじめや不登校等生徒指導上の課題、安全・安心な学校づくりに関する課題等、さまざまな課題が山積しています。 ●特別支援教育に関するニーズが増加するとともに、多様化してきているなか、それらのニーズに応えるための学校体制の充実や教員の資質の向上が求められています。	◇生徒指導や教育相談、特別支援教育等に関わる諸課題や社会のニーズに対応できる仕組みを整えるとともに、通学路交通安全対策実施プログラムの策定やスクールガードリーダーによる講習会、児童生徒への保健指導実施等により安全で安心な教育環境を確保することができました。また、学校給食センターの改築に伴い、安定した学校給食の提供に向けて各関係機関との連携を進めました。 ◆いじめや不登校等の解消を図るため学校問題サポートチーム運営事業の継続拡大や、中学校給食の実施方式の検討、特別支援を要する子どもたちに対する専門性や継続性のある指導維持のため、ことばの教室、通級指導教室の拡充が必要です。	子どもが安全に、安心して学習に取り組んでいる！	「学校生活が楽しい」と感じている児童生徒の割合	%	目標値	91.0	91.0	92.0	92.0	98.7%
							実績値	91.8	90.8	—	—	
6	青少年の健全育成	○青少年の問題行動が多様化、低年齢化しており、学校・地域・家庭の教育力の低下などが指摘されています。 ●地域の青少年を地域で守る意識を地域ぐるみで共有しながら、専門機関等とも連携した取り組みの展開を図っていくことが重要となっています。	◇初発型非行や青少年問題解決のため、小中学校での啓発教室の開催や啓発用パンフレットの配布、関係機関等と連携した相談業務による青少年・立ち直り支援に努めました。青少年育成市民会議事業への支援により、青少年の健全育成や大人の意識・資質向上を図りました。 ◆多様化する青少年問題への対応および青少年の健全育成を図るため、啓発活動を行うとともに各関係機関や関係団体との連携をさらに密にする必要があります。	青少年が地域の中で健やかに成長している！	青少年からの相談件数	件	目標値	700	700	700	700	100.6%
							実績値	840	704	—	—	

## ◆生涯学習・スポーツ

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H25	H26	H27	H28	目標達成度	
7	生涯学習の 振興	○学びを通しての“生きがい発見”の機会づくりはますます重要となっていますが、市民の生涯学習の活動や成果を発表するための場が不足しています。  ●地域協働校の開始以降、大人と子どもの協働による地域学習社会づくりを進めてきましたが、子どもがより主体的に取り組むことのできる段階への移行を図っていく必要があります。	◇図書館資料の適切な収集や整備、「読書・レファレンス相談」「おはなし会」の実施や各種ブックリストの発行・展示紹介を通じて、市民の多様なニーズに応え、読書活動推進と生涯学習支援を一層図ることができました。 リニューアル工事により、施設・設備の充実を図り、快適で利用しやすい図書館となりました。 学校・家庭・地域が連携し、地域の多様な人々とのふれあいや交流を通じた地域協働校推進事業により、「地域が子どもを見守り育てる」ことへのきっかけとなりました。  ◆高校図書館との連携強化や、障害のある方が快適に利用して頂ける環境整備等により、図書館の利用拡大を図る必要があります。 地域の課題解決や地域コミュニティ活性化を図るため、ボランティア活動の場を広げ、市民に学びの場を提供する必要があります。	暮らしの中で「学び」を楽しむ市民が増える！	生涯学習講座の参加者数	人		目標値	28,250	28,300	28,350	28,400	89.2%
								実績値	27,685	25,327	—	—	
8	市民スポーツの 振興	○スポーツは、楽しみ・仲間づくり・健康づくりなど、市民が生涯にわたって健康で豊かな生活を送るうえで様々な効果があり、多くの市民が親しんでいます。  ●市民スポーツのいっそうの推進のため、スポーツによる仲間づくり・健康づくりの支援や、施設・設備の整備などが求められています。	◇地域やスポーツ関係団体等が連携して事業内容の充実を図り、市民のスポーツ実施率の向上に繋がりました。  ◆草津市スポーツ振興計画を策定し、地域やスポーツ関係団体等の連携により一定の成果をあげてきた一方、成果を出せなかった取組もあり、スポーツ基本法の施行や平成36年の滋賀県での国体開催等による市民の意識や環境変化、新たな課題に対応していく必要があります。	スポーツを楽しむ市民が増える！	スポーツに親しむ市民の割合	%		目標値	50.0	52.0	54.0	56.0	97.9%
								実績値	51.9	54.8	—	—	

## ◆市民文化

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位		H25	H26	H27	H28	目標達成度	
9	市民文化の 醸成	○市民の草津への愛着や市民文化への意識の高まりなどをまちづくりの中心に組み入れ、“ふるさと草津の心（シビック・プライド）”の醸成に取り組んでいます。  ●生活文化・地域文化・芸術文化を継承し、誰もがこれらにふれる機会を充実させることで、“ふるさと草津の心（シビック・プライド）”をさらに醸成していく必要があります。	◇草津市への愛着を持ち、市民自らまちづくりに参加する事業展開により、ふるさと草津の心（シビック・プライド）の醸成に繋がりました。 文化芸術の裾野の拡大や創作活動の支援、市民参画による事業など芸術鑑賞の機会の提供するなど、草津への愛着や市民文化の意識の高まりを醸成しました。  ◆草津市シティセールス戦略基本プランに基づき、市の都市イメージを確立するため、より効果的な魅力発信を行っています。 市民の創作活動を奨励するとともに、多様な発表・展示・鑑賞の場の充実など、幅広い世代への文化芸術の普及と拡大を図る必要があります。	みんなが文化を通じたまちづくりに参加している！	市民音楽祭等文化行事・催事の参加者（発表者・出品者・鑑賞者）数	人		目標値	6,450	6,500	6,600	6,700	100.6%
								実績値	6,480	6,738	—	—	

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
10	歴史資産の 保全と活用	○地域に根ざした歴史資産は、まちの歴史や文化、伝統を理解するために、また、市民文化を新たに発展させるために欠くことのできないものです。 ●各種文化財等を適切に保全するとともに、その情報等を積極的に発信し、市民の貴重な財産を次世代へ大切に継承していく必要があります。	◇各種開発に伴い発掘調査を実施し、地域の歴史の実態解明に努めました。また、史跡草津宿本陣の指定地全体の保存整備に向けた修理工事や本陣楽座館の設置により、草津宿街道交流館とあわせて文化財の公開および普及事業を展開し魅力発信に努めました。 ◆調査過程や成果の公表を求められている埋蔵文化財について、発掘調査の公表機会を増やす必要があります。草津宿本陣の指定地全体の保存整備については、全域の保存管理計画を策定し、整備を急ぐ必要があります。史跡草津宿本陣の魅力を発信する事業展開や、子どもたちがふるさとへの関心を高める工夫も必要です。	文化財への興味や理解を持つ人が増える！	史跡草津宿本陣等の入館者の数	人（延べ）	目標値	30,300	30,600	30,900	31,200	109.2%
						実績値	30,330	34,071	—	—		

## 「安心」が得られるまちへ

### ◆子ども・子育て

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
11	母子保健等の 充実	○少子化や小世帯化、都市化と地域関係の希薄化、若年・高齢出産の増加、社会経済情勢の悪化などにより、家庭の“子育て力”が弱まっています。 ●「子育てが孤立している」「子どもとの接し方がわからない」など、子育てに不安や問題を抱える家庭を、地域社会として支援する必要があります。	◇少子化が進み核家族世帯や転入者が増加する中、子育ての孤立を防ぎ不安の軽減につながるよう、産後から子育て期の相談体制の充実にも努めました。 ◆少子化や社会情勢の変化により支援が必要な家庭が増加しており、母子や家族の健康を守る支援の充実、妊娠期から出産、子育て期にわたる継続した相談支援、病気の予防や早期発見・早期対応ができる体制づくりが必要です。地域の見守りや相談体制の充実等により、子どものいる家庭が地域から孤立することのない環境づくりが必要です。	子育てに不安を感じる人が少なくなる！	すこやか訪問の利用率	%	目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	97.8%
						実績値	94.9	95.8	—	—		
12	就学前教育・保育の 充実	○女性の社会進出や経済情勢の悪化等に伴う共働きの増加や就労形態の多様化により、保育需要の増大や多様な保育ニーズが発生しています。 ●待機児童の解消と合わせ、幼児教育・保育の質的な充実を図るとともに、幼保の連携強化と保育・教育内容の統合化を図る必要があります。	◇地域や園独自の特色を生かした質の高い教育・保育を提供し、施設整備を行っているものの、就学前人口の増加や保育需要の高まりを受け、待機児童が発生している状況です。特に需要が高い低年齢児の定員拡大や、発達に支援が必要な子どもに対して適切な支援を提供するため保護者や支援者との連携を図りました。 ◆待機児童の解消に向けた施設整備等による定員拡大や、草津市幼保一体化推進計画に基づき、認定こども園のモデル園開園準備を進めるなど3歳児幼児教育のニーズに対応する環境整備が必要です。障害のある子どもについても、多様化する保育形態に併せた相談の強化・充実が必要です。	安心して子どもを預けられる！	保育所の入所率（年度末）	%	目標値	100	100	100	100	85.3%
						実績値	88.5	85.3	—	—		

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
13	放課後児童 対策の充実	○放課後児童の家庭に代わる生活の場として良好な環境のもと、遊びや生活を通してその子どもの健全育成を図っています。 ●必要とする放課後児童がすべて入会できる児童育成クラブの整備と、その毎日の生活の場としての環境の充実が求められています。	◇児童育成クラブの運営充実や民設児童育成クラブの整備促進等により、就学児童を持つ家庭の仕事と子育ての両立を支援し、放課後児童の健全育成を図りました。 ◆近年の児童数や共働き世帯の増加、就労形態の多様化により、児童育成クラブの利用希望者は年々増加する中、保護者の多様なニーズの対応や放課後児童の居場所の充実、安定した受け入れ態勢の確保が必要です。	放課後の子どもが地域で安心して過ごせる！	児童育成クラブの定員	人	目標値	1,030	1,050	1,080	1,170	88.9%
							実績値	1,030	1,040	—	—	
14	地域ぐるみの子ども・ 子育て支援	○子育てに不安や悩みを抱える家庭や、経済的困窮の家庭、ひとり親家庭が増えています。また、児童虐待相談件数も増加しています。 ●子育て支援の充実とともに、特別な支援を必要とする子どもと家庭には、関係する機関が連携を図りながら支援に取り組むことが求められています。	◇子育てに関する不安や負担感の軽減につながるよう地域の子育て支援機能の充実を図りました。相談体制の充実等による要保護児童等の早期発見および適切な保護や支援、ひとり親家庭の生活の安定と経済的自立の促進を図りました。児童手当の支給や就学前児童・小中学生の医療費助成により、子育てに伴う負担軽減を図りました。 ◆核家族化や地域コミュニティの希薄化があり、子育て不安の解消のための環境づくり、情報提供等により一層の子育て支援の充実が必要です。家庭児童相談室の相談体制の強化、各種助成制度の充実、支援体制の強化、子育てに伴う経済的負担の軽減を図る必要があります。	家庭の子育て力が高まる！	つどいの広場利用者数	千人（述べ）	目標値	35.0	38.0	41.0	44.0	57.0%
							実績値	21.6	25.1	—	—	

### ◆長寿・生きがい

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
15	いきいきとした高齢社会の実現	○いきいきとした高齢社会の実現に向けて、高齢期の健康と生きがいづくりがますます重要となってきています。 ●高齢期にある人が、自らの健康を維持し、知識や経験・技能を生かして社会参加できるよう、そのための機会を充実させていくことが求められています。	◇老人福祉センターや多世代交流施設において、高齢者の健康づくりと介護予防等のための講座やイベントの開催、生きがいづくりを推進する老人クラブの活動や高齢者の技能を生かせる場であるシルバー人材センターの活動への支援を行い、高齢者の社会参加の促進に取り組みしました。 ◆高齢者の増加に伴う要介護認定者の増加が見込まれ、介護予防拠点となる長寿の郷ロクハ荘・なごみの郷の施設修繕・改修が必要です。団塊の世代の大量定年退職を迎え、就業状況の把握や高齢者の生きがい対策としてボランティアを含めた社会貢献活動の場が必要であり、高齢者福祉の分野にとどまらない活躍の場が求められます。	高齢期になっても地域社会で活躍する人が増える！	地域の組織やグループに加入している65歳以上の市民の割合	%	目標値	54.0	56.0	58.0	60.0	73.2%
							実績値	47.3	43.9	—	—	



No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
16	あんしんできる高齢期の生活への支援	○誰もが安心して高齢期を迎えられるよう、介護保険サービスを基本とした生活支援のサービスを整備し提供してきています。 ●制度理解の促進と個別のニーズを踏まえた適切なサービス提供を基本に、介護予防や認知症対策へのいっそうの取り組みの充実が求められます。	◇草津あんしんいきいきプラン第5期計画に基づき、介護サービスの充実や介護予防事業の普及、高齢者の相談支援体制の充実を図るなど、一人ひとりがいきいきと輝き、安心して暮らすことのできるまちづくりに取り組みました。 ◆医療・介護にかかる総合確保推進法の制定や介護保険法の改正、国が示す新オレンジプラン等を受けた地域包括ケアの推進に向け、介護予防・日常生活支援総合事業の実施、在宅療養支援センターの設置、認知症初期集中支援チームの設置などの対応が必要です。また、介護サービス利用にかかる所得に応じた負担割合制度導入、サービス事業所の指定に係る権限移譲への対応も必要です。草津あんしんいきいきプラン第6期計画に基づく総合的な事業推進が求められています。	困った時に相談できる窓口を知っている人が増える！	高齢者相談件数	件	目標値	8,000	8,100	8,200	8,300	211.6%
						実績値	11,905	17,564	—	—		

### ◆障害福祉

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
17	共に生きる社会の推進	○障害のある人の生活の総合的な支援の体制や、就労・余暇活動など地域社会の様々な活動への参加の機会拡充を図ってきています。 ●障害のある人へのさらなる理解、ケアマネジメントに基づく生活支援の充実と、誰もが当たり前に参加できる地域社会づくりが求められています。	◇障害のある人へのさらなる理解が求められる中、障害者福祉センターにおけるふれあい・交流事業の参加者数の増加や、市内相談支援事業所の参入の促進、ケアマネジメントに基づく生活支援の充実を図りました。 誰もが当たり前に参加できる地域社会づくりのため、障害者の積極的な社会参加の機会を提供しました。 ◆障害者差別解消法の施行にあたり、相談体制の整備や啓発活動等を行い、障害のある人へのさらなる理解を進める必要があります。 重症心身障害者通所施設について、通所希望者の受け入れのため新たな整備が必要となっています。	障害のあるにかかわらず、互いを認め尊敬しあえるたくさんの出会いがある！	障害者福祉センターのふれあい・交流事業の参加者数	人（延べ）	目標値	2,000	2,050	2,100	2,150	108.1%
						実績値	1,759	2,325	—	—		

### ◆地域福祉

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
18	「地域力」のあるまちづくり	○少子・高齢化や小世帯化、商店街の衰退などを背景に、隣近所のつながりが希薄化し、地域コミュニティの持つ「地域力」が低下しています。 ●小地域を単位とした相互の支えあいを強め、ひとり暮らし世帯や高齢世帯などが地域社会から孤立しないよう図っていく必要があります。	◇民生委員児童委員活動による各種相談支援や市民活動推進員の育成講座が地域福祉活動へ繋がり、地域福祉活動の拠点整備や地域サロンの実施により高齢者等の交流が図られました。 災害時要援護者登録制度については、町内会への情報提供や制度の周知に努めました。 ◆高齢者の大幅な増加による社会保障費の増大が危惧され、健康寿命の延伸や介護予防、認知症予防等が急務となっており、地域福祉の担い手の育成や地域資源の活用、連携が求められています。	「向こう三軒両隣」で助け合える！	対象者に占める災害時要援護者名簿への登録者数	人（累計）	目標値	3,200	3,400	3,600	3,800	84.5%
						実績値	3,164	3,211	—	—		

## ◆健康・保険

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
19	市民の健康づくり	<p>○健康教育などの啓発や広域での医療体制の充実に向けた取り組みなどを進めています。また、疾病予防対策については、健（検）診の受診率は低水準となっています。</p> <p>●自らの健康は自ら守ることを基本に、よりよい生活習慣の普及啓発を進めるとともに、健（検）診の受診率などを図っていく必要があります。</p>	<p>◇健康と生活習慣に関する啓発や検診受診勧奨個別通知等による疾病予防対策の強化、自殺対策の推進、休日の地域医療体制の強化等により、ライフステージに応じた市民の健康づくりを支援することで健康で自立した生活ができる期間の延伸に寄与しました。</p> <p>◆健康への無関心層も対象にも健康とよりよい生活習慣の啓発ができるような手法の検討や事業の実施が必要です。自殺対策行動計画に基づく関係機関と連携した取り組みや、国のがん対策加速化プラン策定等の動向を捉えた展開が必要です。</p>	健康で自立した生活ができる期間を延ばす！	65歳の平均自立期間	年	目標値	19.50	19.57	19.64	19.71	99.6%
実績値	19.60	19.64	—	—								
20	医療保険制度等の適正運用	<p>○高齢化の進展や医療の高度化などを背景に、医療保険等の制度を、将来にわたって持続可能なものとなるよう見直すことが求められています。</p> <p>●保険者として現行制度を適正に運用するとともに、被保険者である市民の制度理解、健康管理意識の高揚などを図っていく必要があります。</p>	<p>◇特定健康診査の受診率向上や、国民健康保険制度について被保険者の理解を促進し、医療保険制度等の適正運用に努めました。後期高齢者医療制度については、制度概要や納付相談などきめ細やかな対応により、徴収率の向上に繋がり、福祉医療助成により医療に係る経済的負担軽減を図りました。</p> <p>◆医療の高度化や被保険者の高齢化等により国民健康保険制度の財政運営が厳しい中、都道府県が運営の中心的役割を担うなど大きな制度改革が動き出すことから、国、県の動向を注視して運用していく必要があります。</p>	医療保険制度が健全に運用されている！	特定健康診査実施率	%	目標値	40.0	45.0	50.0	55.0	68.5%
実績値	37.2	38.0	—	—								

## ◆生活安心

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
21	生活安定への支援	<p>○景気動向に伴う企業の低迷・倒産等によって、市民の間に生活の安定を確保することが困難な状況が生じています。</p> <p>●最低限度の生活保障のため、各種社会保障制度や生活保護制度の適正運用により総合的に支援する必要があります。</p>	<p>◇生活保護の就労支援相談員を増員し、生活保護からの自立のため就労支援体制の強化を図りました。就職困難者等の相談窓口を設置し、各関係機関との調整等により就労に繋げることができました。</p> <p>◆生活保護受給世帯が増加する中、一人でも多くの受給者が早期に自立できるよう、関係機関との連携強化や就労に係る情報提供、フォロー体制の充実が必要です。相談窓口「くらしのサポートセンター」を設置し、包括的かつ継続的な支援を実施しており、さらなる支援の強化に努めます。</p>	最低限の生活が保障されている！	自立を理由として生活保護を廃止したケースの比率	%	目標値	5.0	5.0	5.0	5.0	70.0%
実績値	2.8	3.5	—	—								

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
22	暮らしの安心の確保	○複雑化する消費者トラブルへの対応強化と生活衛生の確保に努めています。 ●消費者教育・生活相談の充実や消費者団体の育成を図るとともに、継続して生活衛生を確保する必要があります。	◇市民相談および消費生活相談、出前講座やイベントなどの啓発活動を実施し、市民の生活上の不安解消や消費者トラブルの被害回復、生活衛生の向上を図り、市民が安心して暮らせる取り組みを行いました。 ◆相談者の抱える課題解決や自立促進のため、縦割り行政の排除、民間機関との連携により、行政を中心とした支援システムの構築が必要です。高齢者等の消費者被害深刻化もあり、市内の環境整備や消費生活センターの体制整備が重要な課題となります。今後、需要増加が見込まれるため、火葬場のあり方についても検討が必要です。	安心して消費生活ができる！	消費生活相談件数	件	目標値	900	900	900	900	136.2%
							実績値	1,120	1,226	—	—	

### ◆防犯・防災

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
23	自助・共助による防災対策の充実	○地震や火事、風水害等の災害に対して、市民が互いに備える関係づくりを強化し、必要な仕組みを充実させてきています。 ●市民の防災意識のさらなる高揚と、自助・共助のもとでの防災・減災対策のいっそうの強化が求められます。	◇自主防災組織の組織数については、市内の216町内会のうち189町内会に自主防災組織が結成されたことになり、組織率が向上しました。自主防災組織事業補助についても増加しており、防災意識が高まったと考えられます。 ◆防災訓練などを行う町内会が増えるとともに、災害時に対応するため、防災備品整備への関心が高まっています。今後は、防災備品の補助などを積極的に活用していただき、共助による防災力向上を促進します。	市民の防災意識が高い！	自主防災組織率	%	目標値	89.0	90.0	91.0	92.0	99.7%
							実績値	91.6	91.7	—	—	
24	災害に強いまちづくり	○まちづくりの基本として市民生活の安心を守っていくため、地震や火事、風水害等の災害に対するまちの備えを強化充実させてきています。 ●市民生活の安心を守るため、消防署の建て替えなど常備・非常備の消防体制について刷新・強化を図ることが必要となっています。	◇情報伝達手段について、屋外スピーカーのサイレン吹鳴機能付加やJ-ALERT（全国瞬時警報システム）の機能向上のシステム改修を行い、市内一斉緊急放送システムの強化を実施しました。備蓄食料について備蓄計画に基づく分散配置や水防体制の強化、消防団員の処遇改善を図りました。 ◆近年顕著になっている局地的豪雨による水害が懸念され、防災対策・水防体制の強化、避難勧告等の発令マニュアルの策定、情報伝達手段の住民周知を徹底する必要があります。機能別消防団員を視野に入れた消防団員の確保や装備の充実を図ります。	消防・防災力が保たれている！	災害に強いまちであると感じる市民の割合	%	目標値	23.0	24.0	25.0	26.0	91.5%
							実績値	20.4	23.8	—	—	

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
25	犯罪のないまちづくり	○市民一人ひとりの防犯意識と、地域コミュニティの醸成による犯罪抑止力の向上を図ることで、犯罪のないまちづくりを進めてきています。 ●市民の防犯意識のいっそうの向上と地域防犯活動の展開、また、不安箇所の解消等によって犯罪を未然に防ぐまちづくりをさらに進める必要があります。	◇市内における犯罪分析の結果、自転車盗が約3割を占めることから、重点的な自転車盗対策や各種啓発活動を積極的に展開した結果、犯罪認知件数を減少させることができました。 ◆本市における犯罪については減少傾向にありますが、犯罪率県下ワースト1位であり、多岐にわたる犯罪を更に減少させるため、今後も官民が一体となって防犯に対する取り組みを展開し、犯罪の抑止に取り組む必要があります。	犯罪認知件数が減る！	人口1万人当たりの犯罪認知件数	件	目標値	167	162	157	152	115.1%
							実績値	169.6	132.1	—	—	
26	治水対策の推進	○排水能力が不足している河川が、市内に一定あることから、大雨時に河川・排水路の氾濫が危惧されます。 ●重点整備による効率的な整備が必要ですが、雨水排除に重要となる一級河川整備の進捗の遅れが、雨水整備計画の支障となっています。	◇大雨による家屋等の浸水被害の軽減および未然防止を図るための雨水幹線の整備や、地域の雨水排水能力の向上と浸水防除を図るため河川改修工事を実施し、治水対策の推進を図りました。 ◆ゲリラ豪雨の発生により全国的に浸水被害が発生しており、雨水排水路の整備や生活に密着した水路改修の要望など、市民の浸水被害に対する意識が高まっております。雨水排水路の放流先である一級河川の整備を進めるため、管理者である滋賀県に早期整備の実施について要望を続ける必要があります。	治水対策が進んでいる！	雨水排水路整備率（進捗面積/計画面積）	%	目標値	65.1	65.3	65.4	65.7	100.0%
							実績値	65.1	65.7	—	—	

## 「心地よさ」が感じられるまちへ

### ◆うるおい・景観

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
27	草津川跡地の空間整備	○本市のまちの構造に「緑のみち」として位置づけられる草津川跡地は、広大な空間の多くが未利用の状況にあり、その活用のための検討を進めています。 ●草津川跡地について、市民ニーズの多様性を踏まえた、より有効な空間活用ができるよう計画し、事業化していく必要があります。	◇草津川跡地をにぎわいやうるおいのある空間、災害時の防災空間として整備するため、優先整備区間である区間2、区間5の事業用地を取得しました。引き続き用地取得、実施設計を進め整備工事に着手し、平成29年春の供用開始を目指します。 ◆優先整備区間である区間2、区間5の平成29年春供用開始に向けて、導入予定の指定管理者や民間事業者の募集・選定等を行うとともに、引き続き整備工事等を進めます。	草津川跡地の活用のための空間整備が進んでいる！	整備進捗率（整備面積/計画面積）	%	目標値	10	20	40	40	37.5%
							実績値	10	15	—	—	



No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
28	やすらぎ・ 憩いの環境 づくり	○市域の広範囲で開発事業による宅地化が進んでいますが、市民がやすらぎと憩いを得られる場所が不足しています。 ●総合公園から街区公園まで、利用目的に応じた公園の整備が求められるとともに、まちなみに緑を増していくことが求められています。	◇ロクハ公園の整備により新規供用を開始しました。老朽化の進む公園施設の対策として公園施設長寿命化計画を策定し、今後効率的・効果的な修繕、更新工事を行います。ガーデニングサークル組織化の促進や市民の自主的活動の推進、駅周辺の公共空間のガーデニング実施によりまちなみ緑化を推進しました。 水辺空間の活用として親水公園の整備等を行いました。 ◆第2次草津市緑の基本計画に基づき、都市公園の整備を進めます。また、安全性の確保と機能保全を図りつつ、維持管理コストの縮減等により、各公園施設の効率的・効果的な修繕・改修工事を計画的に進めます。	市民が利用できる公園・緑地が増える！	公園・緑地面積	ha	目標値	70.6	73.3	76.1	78.8	96.3%
							実績値	75.1	75.9	—	—	
29	良好な景観の 保全と創出	○良好な景観は、各地域の歴史文化や風土、人々の営みなどの影響を受けながら、長い時間をかけて形づくられてきた、かけがえのない市民共通の資産です。 ●市内各地の特性に応じた、良好な景観の保全と活用や、新たな景観の創出に取り組む、次代を担う子どもたちに良好な景観を引き継いでいく必要があります。	◇くさつ景観百選の追加選定や景観百選ウォーキングマップの作成、無電柱化の実施に向けた景観形成重点地区指定について検討を進め、地域の景観への愛着や取り組みの気運を高めました。 広域的な景観形成を図るため、大津市とびわこ大津草津景観宣言を行い、びわこ大津草津景観推進協議会を設立しました。 ◆東海道周辺の歴史的な街道景観の保全・活用のため、引き続き景観形成重点地区の指定と無電柱化の実施について地域と共に検討を進める必要があります。大津市との広域景観施策がより一層推進できるよう、景観基本計画の策定に向けて検討する必要があります。	誰もが快適で心地いいと感じる場所が増える！	市内および居住地周辺の景観に好感が持てると感じる市民の割合	%	目標値	27.7	29.2	31.7	33.2	98.2%
							実績値	32.1	32.6	—	—	

### ◆環境

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
30	良好な環境の 保全と創出	○生態系に配慮した環境保全と環境負荷低減のため、事業所等への指導・啓発や環境汚染等の調査を継続して公害規制基準の順守と公害リスクの管理を行っています。 ●自然環境の保全と住環境充実のために環境に配慮した取り組みが求められている中、住工混在地域での騒音、振動、悪臭等、生活に身近な環境公害が増加しつつあります。	◇「草津市の自然」ダイジェスト版の作成や市民主体の身近な生き物の調査により、生物多様性等の環境問題に対する意識啓発を図りました。学校や市民団体、企業などが交流する場として「こども環境会議」を開催しました。河川の水質保全や良好な水環境確保のため、河川の水質調査を実施しました。 ◆環境問題に対する意識啓発のため、市民・団体・企業などの自主的な活動に対する支援ツールとして「草津市の自然」ダイジェスト版を活用し、市域の活動が広がるよう取り組みを進める必要があります。こども環境会議や川の水質の監視は継続的に取り組む必要があります。	環境基準が常に達成されている！	環境管理基準(BOD)の達成状況(達成回数/測定回数)	回	目標値	24/24	24/24	24/24	24/24	95.8%
							実績値	24/24	23/24	—	—	

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
31	低炭素社会への転換	○温暖化防止条例（「愛する地球のために約束する草津市条例」）の施行を受け、草津市地球冷やしたいプロジェクトに基づく諸施策を実施しています。 ●低炭素社会の実現をめざし、市民・団体・事業者への周知・広報に努めるとともに、省エネルギー、新エネルギー利用の促進を図ります。	◇草津市地球冷やしたい推進協議会全体で、先進地視察や啓発活動など温暖化防止に取り組み、今後は協議会員数を増やしネットワークを活用して低炭素社会への転換を進める必要があります。 各種イベントにおける省エネ、新エネの利用促進に係る啓発活動により、引き続き利用促進を図る必要があります。 ◆草津市地球冷やしたい推進協議会について、会員数の増加を図り、先進地視察や啓発活動等により活動を拡充する必要があります。省エネルギーに配慮した活動促進や新エネルギーの利用促進のため、啓発や周知方法の工夫、情報の充実を図る必要があります。	低炭素社会づくりに取り組む市民・事業者等の活動が活発である！	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数	者	目標値	72	74	76	78	88.5%
							実績値	69	69	—	—	
32	資源循環型社会の構築	○イベント等を通じ、ごみの減量・資源化の推進や環境美化の推進を図るとともに、廃棄物の適正処理を行っています。 ●資源の有効活用について啓発等を積極的に行い、資源化をさらに推進していく必要があります。	◇ごみ問題を考える草津市民会議の各種啓発事業により、廃棄物の発生抑制・資源化推進のための市民意識の向上を図りました。また、パトロール業務の継続により不法投棄ごみ量が減少しました。 ◆啓発等の実施や減量およびリサイクルを進め、分別を徹底する必要があります。新たなごみ焼却処理施設の稼働を見据え、現焼却処理施設の適正な維持管理および新たな廃棄物処理施設の稼働に向けて、工事を計画どおり進めていく必要があります。不法投棄は多様性、悪質化が進んでおり、地域・警察との連携やパトロールの継続が必要です。	分別の徹底により、資源化量が増える！	ごみの資源化率	%	目標値	22.7	22.8	23.0	23.2	82.8%
							実績値	19.5	19.2	—	—	

### ◆住宅・住生活

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
33	“まちなか”の魅力向上	○“まちなか”では、計画的な市街地整備が進む一方で木造住宅の密集した地区もあり、防災面も含めて、複合的な課題が残された居住環境となっています。 ●“まちなか”を暮らす人にとって、より魅力的な場所とするため、適切な都市基盤整備と商業機能等の生活機能の集積を進めていく必要があります。	◇草津市中心市街地活性化基本計画に基づき、まちなかの低未利用地の活用、都市福利機能、商業施設等の集積を図り、歩いて暮らせるまちづくりを進めてきました。niwa+（ニワタス）のオープンや「草津まちイルミ」の開催等によりまちなかの魅力向上を図りました。 ◆人口減少、高齢化社会を見据え、中心市街地を核とした集約型都市構造への転換、市街地の整備改善、都市福利施設の整備、まちなか居住の推進、商業の活性化、公共交通の利便増進に取り組み、暮らし易く賑わいのある、歩いて暮らせる魅力ある都市づくりを進めます。	“まちなか”に人がつどい、ゆっくり楽しんでいける！	“まちなか”に魅力があると感じる市民の割合	%	目標値	19.0	22.0	24.0	28.0	98.6%
							実績値	28.3	27.6	—	—	

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
								H25	H26	H27		H28
34	住まいと住生活の魅力向上	○昭和40年代から本格化した住宅開発は、大学の展開もあいまって、さらに大きく広がり、JR駅周辺など“まちなか”の市街地整備も進んでいます。 ●成熟の段階を迎えた既成市街地の良好な環境を守るとともに、ゆとりとうるおいある市街地整備・住宅開発を誘導していく必要があります。	◇都市計画法等に基づく良好な環境の確保と調和のとれた土地利用および秩序ある都市の形成を進めつつ、長期優良住宅の認定等により、質の高い優良住宅の普及に努めました。 ◆人口減少社会に対応するため、立地適正化計画の制度化を踏まえ、コンパクトなまちづくりに向けた市街地整備・住宅開発の誘導を検討していくとともに、優良ストックの拡大に加え、危険な空き家等による住環境への影響に対する対策の必要性が高まっている。	誰もが住みたい・住み続けたいと感じる、魅力と安心がある！	良好な居住環境が形成されていると感じる市民の割合	%	目標値	57.0	58.0	59.0	60.0	107.7%
							実績値	61.7	64.6	—	—	

### ◆上下水道

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
								H25	H26	H27		H28
35	水の安定供給	○本市の水道は昭和39年から一部給水を開始し、人口急増に対応しながら拡張事業を着実に進め、概ね100%の普及率となっています。 ●老朽化が進む初期に整備した水道管や浄水場など上水道施設の更新・耐震化を推進し、適切な維持管理を行うことが最大の課題となっています。	◇草津市水道ビジョンおよび経営計画の策定により、長期的な視点での経営戦略を持ちながら、安心・安全な水を安定して御利用いただける事業を計画的に進めるとともに、公営企業として健全経営を維持しながら事業を展開しました。 ◆老朽施設の更新や耐震化による災害に強いライフラインの確保に努め、事故・災害時の対応力を強化する必要があります。老朽化水道施設が増加していく中、近隣事業者との業務共同化や広域的な連携対策など、業務効率化の検討が必要です。	エコにも配慮したローコストで安心・安全な水を、いつでも利用できる！	水の安定供給に対して不満を感じている市民の割合	%	目標値	3.7	3.4	3.1	2.8	54.9%
							実績値	5.8	5.1	—	—	
36	下水道の安定基盤づくり	○快適な暮らしを実現し、琵琶湖を取り巻く水環境を守るために、市民・事業者等がすべて下水道に接続し、適正に管理することが大切です。 ●未整備地域があとわずかとなった今、下水道施設の普及促進と老朽化した施設の更新・耐震化や機能強化などの適切な維持管理が求められます。	◇長寿命化計画に基づき、下水道施設の計画的な改築と維持管理を行い、防災および減災対策のため重要な幹線に係る下水道施設の耐震診断を実施しました。安定して下水道を継続し、公営企業として経営の透明化を図るべく、地方公営企業法の適用を行い経営基盤の強化を図りました。 ◆下水道施設の老朽対策や耐震対策が必要であり、処理有収水量は近年横ばいとなっています。初期投資の企業債の償還が高水準で推移しており厳しい経営状況にあります。地方公営企業法を適用し、経営の透明化およびより一層の経営の健全化に努める必要があります。	快適な生活環境を維持するため、下水道がいつでも使用できる。	汚水の適正処理に対して不満を感じている市民の割合	%	目標値	5.7	5.4	5.1	4.8	88.9%
							実績値	6.5	5.4	—	—	

◆道路・交通

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
37	快適な道路の整備	<p>○主要幹線道路における交通量の増加と整備の遅れ等によって慢性的な交通渋滞が生じており、生活道路への交通流入量も増加傾向にあります。</p> <p>●主要幹線道路および生活道路、また、歩道・自転車道等の、計画的・体系的な整備が求められています。</p>	<p>◇国の道路整備に関する要望活動、県の道路整備に関する意見交換会等を実施しました。生活道路や歩道整備を進め、都市計画道路大江霊仙寺線においては、川ノ下工区整備を完了し供用を開始しました。</p> <p>◆平野南笠線や山手幹線の整備促進を図るため、県の道路アクションプログラムへの位置付け等、事業の継続実施が必要です。また、快適な道路の整備に向け、計画的に事業を進めます。</p>	スムーズに通行でき、草津らしさを感じる道路景観がある！	環状道路および主要な都市計画道路等の整備率（整備済延長／整備予定延長）	%	目標値	69.0	69.6	70.6	70.6	99.4%
						実績値	69.2	70.2	—	—		
38	安心・安全な道路空間の構築	<p>○生活道路等における交通量の増加と老朽化に伴い、経年劣化が進んでいる施設が増加傾向にあります。</p> <p>●主要幹線道路および生活道路、また、歩道・自転車道等の、安全で快適な道路空間の構築が求められています。</p>	<p>◇交通安全施設等の整備や道路の適切な維持管理により道路空間の安全性が高まったことや、交通安全啓発活動として交通事故防止の啓発活動に努めたことにより、交通事故件数は減少傾向となりました。</p> <p>◆安全・安心な道路空間の構築に向け、引き続き交通安全施設等の整備や道路の適切な維持管理に努めます。草津市自転車安全安心利用促進計画に基づき、自転車に関わる道路空間の整備および自転車の安全で安心な利用に関わる各種啓発活動などを実施します。</p>	安全・安心な道路空間がある！	道路空間の安全性に満足している市民の割合	%	目標値	30.0	31.5	33.0	34.5	61.2%
						実績値	21.6	21.1	—	—		
39	公共交通体系の充実	<p>○公共交通空白地等の解消、移動制約者の生活交通の確保などの課題に対し、「草津市総合交通戦略」で検討を進めます。</p> <p>●市民・来訪者の移動利便性・生活利便性を高めるため、新たな交通ネットワークを推進していく必要があります。</p>	<p>◇平成25年10月から本格運行となったまめバスは、栗東市コミュニティバスとのジョイント運行により利便性が高まりました。また、関係団体等の意見を踏まえて検討した結果、運行継続の基準を取引率から利用者数に変更しました。</p> <p>◆まめバスの利用者数は増加傾向にあるものの、公費負担割合が高く、路線によって利用者数にバラつきがあります。高齢化社会に対応した交通機関の維持および充実が必須であり、民間バス路線も含めた路線の見直し、地域や事業者が一体となった公共交通網の見直しが必要です。</p>	公共交通機関が便利で市内の移動がしやすい！	公共交通機関の利便性に満足している市民の割合	%	目標値	38.0	39.0	40.0	41.0	104.4%
						実績値	43.1	42.8	—	—		
40	バリアのないまちづくり	<p>○公共公益的な建築物等に対してバリアフリー化を指導していますが、県の条例に強制力がないことから、整備が進まない状況にあります。</p> <p>●今後とも、継続的かつ精力的にバリアフリー化の促進を図り、指導を行うとともに、市内移動の円滑化を進めていく必要があります。</p>	<p>◇各事業者において、順次バリアフリー化に係る整備を行いました。</p> <p>◆重点整備地区のバリアフリー化に向けた整備を進める中、重点整備地区すべてが解消されたわけではないことから、引き続き整備して必要があります。重点整備地区以外でも新たに開発等が進み、重点地区の見直しが必要となっております。</p>	車いすで“まちなか”を自由に移動できる！	まちに障壁（バリア）が少ないと思う市民の割合	%	目標値	21.0	22.0	23.0	24.0	119.2%
						実績値	27.2	28.6	—	—		



「活気」があふれるまちへ

◆農林水産

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
41	農業の振興	○食と農への消費者の関心が高まる一方で、農業者の高齢化等により、農村活力の低下と本市農業の担い手不足がますます深刻化してきています。 ●業として成り立つ農業経営の確立と活力ある農業人材の確保、また、食育と連携した地産地消の仕組みづくりが求められます。	◇新たに持続可能な地域農業の実現を目指す「人・農地プラン」を作成し、県・JA草津市・農業者等と連携し、経営所得安定対策や各種支援制度の活用、農地の集積、草津ブランドの推進等により、持続的・安定的な農業経営の確立に努めました。また、学校給食での地産地消の促進や農業体験や市民農園の運営により、「農」のあるまちづくりを進めました。 ◆国の農政改革や県の施策展開および環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の大筋合意等により、今後は安価な輸入農産物の大幅な増加が見込まれ、農業を取り巻く環境が大きく変わります。草津市農業振興計画に基づき、市内農業の体質を強化し、市民とともに農業・農地の価値を認め、共有の財産として次世代に引き継いでいくための取組がますます重要となってきています。	地元農産物を求める市民が増える！	地元の農産物を購入するよう心掛けている市民の割合	%	目標値	60.0	61.0	62.0	63.0	85.1%
							実績値	50.9	53.6	—	—	
42	水産業等の振興	○琵琶湖の水質汚濁や湖岸堤整備、侵略的外来魚の定着等を要因に漁獲量は年々減少し、水産業者も高齢化や後継者不足が著しく進んでいます。 ●漁場環境の保全・確保と栽培漁業への転換、また、観光漁業など経営の多角的展開を進めて、水産業基盤の確立と後継者確保を図る必要があります。	◇湖魚の加工品の販売や試食、漁業体験等を通じて水産業の振興や安定化を図りました。また、市内漁港の指定管理者制度導入による漁港の適正な管理運営、漁場環境の改善、漁業資源の確保に努めました。 ◆平成27年9月に成立した「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」では、外来魚の防除や漁業資源の回復などへの国の支援に対する努力義務が明記されており、国や県の動向に注視しながら水産業の振興、地域の活性化に向けた取り組みを進めていきます。	琵琶湖固有の魚が増え、その魚を買う人が増える！	地元の水産物を購入するよう心掛けている市民の割合	%	目標値	32.0	33.0	34.0	35.0	85.1%
							実績値	30.8	29.8	—	—	

◆商工観光

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
43	中心市街地の魅力向上	○大型商業施設の集積が進み、中心市街地では、商店街などの商業機能の低下が懸念されています。 ●地域資源の活用や新たな都市魅力の構築等、中心市街地の活性化を進める必要があります。	◇宿場町としての街並み景観の形成、まちなか交流施設「くさつ夢本陣」の活用、中心市街地における商店街の賑わいやまちなか交流の拠点づくりにより、地域の活性化を図りました。 ◆魅力向上のため関係機関と連携し市民ニーズに合った事業を進めます。草津川跡地区間⑤への商業施設立地については、誘客や回遊性、既存事業との相乗効果を生み出せる方法を検討します。後継者不足に悩む既存店舗もあり、出店意欲のある事業者の発掘により中心市街地の店舗の新陳代謝の促進を図ります。	魅力ある中心市街地に人が集まる！	“中心市街地”に魅力があると思う市民の割合	%	目標値	26.0	29.0	31.0	35.0	82.3%
							実績値	29.3	28.8	—	—	

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
44	工業の振興	<p>○恵まれた交通の利便性のもとで企業立地が進んでいることに加え、ベンチャー企業育成施設や技術力の高い中小企業等が集積しています。</p> <p>●まとまった用地の確保と併せた企業立地優位性の対外発信や、積極的な企業支援、中小企業等の技術力のPRと販路の開拓・拡大が求められます。</p>	<p>◇創業支援事業計画を策定し、創業者等への支援やベンチャー企業の育成を図りました。また、ビジネスマッチングの促進、展示会出展支援、マネジメントスクールの開催による既存企業の支援や、設備投資への助成など、企業の段階に応じた施策展開により工業の振興を図りました。</p> <p>◆更なる振興を図るにあたって産業支援コーディネータの待遇について検討が必要です。また、新たな工業適地、工業用地の確保に向けた取組や、産官学金の連携により伴走型支援も含めた創業支援の検討が必要です。</p>	元気な企業がたくさん集まる！	創業・第二創業などの企業の立地件数	企業（累計）	目標値	26	30	34	38	71.1%
						実績値	24	27	—	—		
45	商業の振興	<p>○本市を含む琵琶湖南部地域は、非常に消費購買力が高く、大型商業施設の集積地となっています。</p> <p>●地域ごとの商業振興を進め、既存商店街と大型商業施設の共存を図り、地域経済発展につなげる必要があります。</p>	<p>◇市内小規模企業者に対する円滑な資金供給を行い、経営基盤の強化に取り組みました。関係団体の実施する商業振興や公益性の高い事業活動に対して支援を行ったほか、納涼まつりや「みなくさまつり」などイベント開催の補助により地域商業の活性化を図りました。</p> <p>◆商店街組織は会員の高齢化が進み、店舗を閉めて住居利用されている建物も多いことから、商店街で出店意欲のある事業者を呼び込む体制作りや、若い経営者を中心とした新たな組織による活動など、新規店舗と既存組織が融合して相乗効果を生む取り組みが必要です。</p>	市内の商業者が活発に活動する！	買い物する環境が整っていると認める市民の割合	%	目標値	71.0	72.0	73.0	74.0	96.9%
						実績値	68.5	71.7	—	—		
46	観光の振興	<p>○本市の観光入込客数は、近年横ばいの傾向にあり、その多くは日帰り観光となっています。</p> <p>●来訪者の観光ニーズに敏感に応えられるよう、広域的な連携も図りながら、限られた観光資源を最大限に生かした事業を展開することが求められます。</p>	<p>◇宿場町草津の魅力発信する草津宿場まつりや熱気球フライト体験、ハスクルージング等は観光客誘致に大きく貢献し、観光客数の増加に繋がっています。着地型観光の推進により、地域に対する愛着や誇りといったシビック・プライドの醸成に繋がっています。</p> <p>◆観光物産協会の機能充実や観光ボランティアガイドの活動を支援し、新たな地域資源の発掘や情報発信など更なる事業展開を図る必要があります。市、観光物産協会、湖南四市で連携し、イベントの実施が経済的、社会的効果に繋がるよう取り組んでいく必要があります。</p>	草津を楽しむ観光客が増える！	観光の振興に満足している市民の割合	%	目標値	19.0	20.0	21.0	22.0	125.5%
						実績値	25.5	27.6	—	—		
47	勤労者福祉の増進	<p>○社会・経済情勢の厳しさが継続するなか、勤労者を取り巻く環境もますます厳しさを増しています。</p> <p>●豊かでゆとりある暮らしと活力ある地域社会の基礎として、誰もが安心して働くことができる環境を守っていくことが、ますます求められています。</p>	<p>◇ワークライフバランスや企業内の人権啓発により、企業内の福祉の増進を図るとともに、草津・栗東地区労働者福祉協議会および（一社）草津市勤労者福祉サービスセンターが行う福祉事業・文化事業・体育事業により、労働者が豊かでゆとりのある暮らしや安心して働くことができる環境の保全を図りました。</p> <p>◆市内中小企業で働く勤労者に対する福利厚生事業の充実を期するため組織されている（一社）草津市勤労者福祉サービスセンターは、機能を維持するため財政状況を踏まえた経営改善が必要です。</p>	安心して働き暮らせる！	働きやすい労働環境であると感じる市民の割合	%	目標値	20.0	21.0	22.0	23.0	110.0%
						実績値	23.8	25.3	—	—		

◆コミュニティ・市民自治

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
48	市民自治の 確立	○各種のまちづくり支援拠点における市民活動や、まちづくり協議会の取り組みなど、様々なまちづくり活動が展開されています。 ●各支援施設・機能の整備活用の経緯や状況を踏まえながら、市民主体のまちづくり活動の支援体制を推進していく必要があります。	◇まちづくりセンターは、利用料金制を導入したことにより利用者が増加傾向にあることから、市民自治の確立のための環境整備を推進するためにいっそうの利用周知等を図ります。 ◆まちづくり協議会の認知度が十分ではないことから、その役割や活動等についてさらに積極的に周知し、各地域でまちづくり協議会の存在意義を高めていく必要があります。まちづくりセンターについては、平成31年にオープン予定の（仮称）市民総合交流センターに移行した際の機能等について、十分な検討が必要です。	市民主体のまちづくりが進んでいる！	市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	目標値	17.3	18.3	19.3	20.3	82.3%
							実績値	14.5	16.7	—	—	
49	基 礎 的 コ ミュニティ の活性化	○町内会、自治会など基礎的コミュニティによって、それぞれの地域で特色ある活動が展開されています。 ●コミュニティ意識の高揚を図りながら、地域が一体となった取り組みを展開できる仕組みづくりが求められます。	◇分譲住宅やマンション開発の増加、ライフスタイルの多様化に伴い、町内会活動への不参加者が増加する中、良好な地域社会の形成と地域コミュニティの活動基盤の形成に向けて、今後も町内会に対し継続した支援を行います。 ◆町内会の集会所について老朽化が目立つことから、コミュニティハウス整備事業補助の制度を周知し、活用を促進していく必要があります。	基礎的コミュニティ活動への“参加の窓口”がさまざまに用意されている！	町内会の活動に参加している市民の割合	%	目標値	51.5	52.5	53.5	54.5	95.2%
							実績値	45.8	51.9	—	—	
50	市民公益活 動の促進	○テーマによるまちづくりや地域づくりに取り組むNPO・ボランティア・各種団体の育成と支援を行っています。 ●市民公益活動団体間の交流・情報交換を活発にし、各地域のまちづくりの取り組みとの連携を促していくことが求められます。	◇草津市協働のまちづくり条例に基づき、中間支援組織である（公財）草津市コミュニティ事業団等と連携を強化し、市民公益活動団体等への支援の充実を図ります。 ◆市内のNPO法人等を含む市民公益活動団体が高齢化等の影響により減少傾向にあることから、今後は新たに活動を始める方の発掘及び育成に取り組む必要があります。	市民公益活動団体が幅広い分野で活動している！	市民活動等の団体数	団体	目標値	240	245	250	255	103.1%
							実績値	272	263	—	—	

◆情報・交流

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績・環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
51	まちづくり情報の提供の充実	<p>○市民によるまちづくり活動が様々な高まりを見せ、各活動がネットワークして、互いの情報を有効に活用していく段階へと進んできています。</p> <p>●地域情報や行政情報を活用できる工夫をさらに進めて、市民によるまちづくり活動が活発に展開されるよう図っていくことが求められます。</p>	<p>◇広報紙発行のほか、多様な媒体で情報を提供するとともに、パブリシティ活動を推進し、マスコミ報道を利用した情報提供や民間情報誌に市政情報を掲載するなど、様々な手法により行政情報を広く提供しました。</p> <p>コミュニティ事業団HPのリニューアルにより情報発信と交流が活発化し、まちづくり情報基盤の整備を推進しました。</p> <p>◆スマートフォンの普及などインターネット活用のさらなる浸透を見据え、既存の広報手段の充実やSNS等の新たな媒体の調査、研究を進め、多様な方法で情報提供に努めます。</p> <p>市民との情報交流を図る中で、協働のまちづくりの気運をさらに高められるよう、市民が参画できる事業展開が必要です。</p>	地域のまちづくり情報が簡単に手に入る！	地域のまちづくり情報が簡単に手に入ると思う市民の割合	%	目標値	22.6	23.6	24.6	25.6	84.0%
						実績値	18.8	21.5	—	—		
52	多様な交流活動の展開	<p>○立命館大学との連携・協力をさらに推進する気運の高まりがあり、また、市民の交流活動も文化や地域の垣根を越えた広がりを見せています。</p> <p>●立命館大学・近隣自治体等との連携や市民交流と多文化交流の促進を図る中で、効率的で効果的なまちづくりを進めていく必要があります。</p>	<p>◇市の政策審議機能の充実に資する政策提案を行うため、大学等と共同研究を行い、大学立地の優位性を生かしたまちづくりのあり方として連携拠点の創出や、今後のイノベーション創出の可能性等について提案しました。</p> <p>近隣自治体等と連携し、観光情報の発信や情報共有等を行いました。国際交流事業として新たな事業協力を行うなど、多文化交流の場を提供しました。</p> <p>◆地方分権が進む中、市政に関する課題等の早期発見や対策、政策形成能力の向上が重要となるため、大学等の専門的知見による裏付けある政策提案のため、引き続き共同研究を進める必要があります。</p> <p>平成26年度に設立した「草津・栗東広域行政協議会」において、本市と栗東市にまたがる共通の課題について、引き続き意見交換・情報共有に努める必要があります。</p> <p>在住外国人支援の通訳配置について、市内在住外国人の減少により相談件数も減少しており、改善策を検討する必要があります。</p>	新しい出会いとふれあいがある！	学生への地域活動依頼件数(市内分)	件	目標値	150	160	170	180	77.8%
						実績値	132	140	—	—		



# 行財政マネジメント

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							目標値	H25	H26	H27		H28
53	健全な市政運営	○行財政資源を適切に配置・配分し、成果を最大限引き出す行財政マネジメントに取り組んでいます。  ●よりよい行財政マネジメントを図るとともに、行財政資源の適正な管理をさらに進めていく必要があります。	◇市債の新規借入の抑制、基金への積極的な積立等により、良好で健全な財政状況を確認しています。 定期点検・劣化度調査の結果に基づき市有建築物を計画的に修繕するため、草津市市有建築物中長期保全計画を策定しました。少子高齢化と近い将来の人口減少に備え、施設の有効活用と修繕・更新、資金計画等のため、草津市公共施設白書を策定しました。また、草津市市有建築物維持管理費の縮減策に基づき具体的な方策を作成しました。 総合計画第2期基本計画の施策評価を実施し、結果を総合計画の執行管理および決算、予算等の過程で重視し、総合計画と予算の運動を図りました。また、まち・ひと・しごと創生に関する取り組みの検討を開始しました。 第2次行政システム改革推進計画アクションプランの進捗状況等の評価を行い、協働のまちづくり条例制定、財政規律ガイドライン策定、使用料等の見直しによる改定、事務事業点検中間レビューの実施等の成果が得られました。  ◆大規模事業が一斉に本格始動する重要な時期を迎え、将来の財政負担への対応が懸念されることから、引き続き健全な財政運営に努めることが重要です。 市有建築物の長寿命化と保全費用の縮減、平準化のため、中長期保全計画の確実な実施が重要です。また、維持管理費の縮減のため、市有建築物維持管理費の縮減策に基づく取り組みを進める必要があります。 総合計画第3期基本計画の策定に向けた取り組みを行います。 草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、総合計画と整合を図り、人口減少対策および地方創生に特化した取り組みを推進します。 第2次草津市行政システム改革推進計画の総括評価を実施し、計画期間終了後の方向性について検討します。 公共施設等総合管理計画に基づき、インフラ資産も含めた公共施設等の総合的な管理を行い、将来の財政負担を軽減・平準化するとともに老朽化対策と公共施設等の最適な配置に向けた取り組みを推進します。 利用開始となったマイナンバーを活用し、事務事業の効率化を推進する必要があります。	将来負担比率が適正に維持されている！	将来負担比率	%	目標値	60%以内	60%以内	60%以内	60%以内	100.0%
							実績値	-	-	-	-	
54	職員力の向上	○職員の年齢構成の偏りから職員の入れ替わりが多くなってきているとともに、臨時職員・嘱託職員、任期付き任用職員など、人材の多様化が進んでいます。  ●職場マネジメントや部局間連携などの仕組みを充実させ、限られた数の職員が最大限に能力を発揮できる組織をつくる必要があります。	◇市民満足度向上を目的としたCS研修、労務管理能力の向上を目的としたマネジメント研修等、研修計画に基づく研修を適時実施した結果、適切な人材の育成を図りました。  ◆高度化・多様化する市民ニーズに対応できる職員育成のため、草津市人材育成基本方針に掲げる事項を体系的かつ計画的に進める必要があります。 地方公務員法が改正され、職員の能力や業績を公正に把握し、主体的な職務の遂行およびより高い能力を持った職員を育成するため、人材育成評価制度を総合的に見直し、市民福祉の向上に繋げる必要があります。	市民に信頼される職員である！	職員の対応に満足を感じている市民の割合	%	目標値	32.5	35.0	37.5	40.0	88.8%
							実績値	35.3	35.5	-	-	

No.	基本方針	第2期計画策定時の現況と課題 【○現況、●課題】	平成25年度・26年度における取組み概要・ 成果実績、環境変化・今後の課題 【◇取組み概要・成果実績、◆環境変化・今後の課題】	目標像	ベンチマーク	単位					目標達成度	
							H25	H26	H27	H28		
55	市民との情報共有の推進と公正の確保	○草津市自治体基本条例に基づき、積極的に市政情報の公開に努めています。 ●市政の透明性の確保と市民サービスの向上を図るため、積極的な情報公開が求められます。	◇建設事業契約審査に関しては、入札の結果をすべて公開することによって、情報公開事務に関しては、情報公開室を運営し適正な運用を行うことによって、市政運営の透明性の向上と公平・公正の確保に努めております。 ◆草津市自治体基本条例および草津市市政情報の管理に関する条例の施行により、情報公開、個人情報の保護、建設事業契約審査等に関して、今後、より一層、市政の透明化、適正な情報公開、個人情報保護の運用が求められます。	市政情報等が手に入りやすい!	市政情報等が手に入りやすいと思う市民の割合	%	目標値	26.0	28.0	30.0	30.0	86.0%
							実績値	24.2	25.8	—	—	